

災害対策車見学会 尻別川の水生生物調査

蘭越小学校の
児童参加



尻別川で魚類を採捕している子供たち

8月28日(火)蘭越町尻別川で蘭越小学校の児童を対象に「尻別川水生生物調査」と「災害対策車見学会」を開催しました。

これは尻別川の水辺に生息する生物を自ら採取・観察することによって、尻別川の水質を評価することと、子供たちに尻別川の自然の豊かさや親しみ、河川愛護や河川の水質などに関心を高めて貰うことを目的に実施したものです。

当日は気温30度近くあり水温も20度と、川に入って水生生物調査をするには絶好の天候に恵まれました。最初に職員から

川に入る前に「川の危険について」説明

「川の危険について」説明した後、職員監督の下、子供達は川に入って石を採取し付着している水生生物調査を採取・観察しました。次にタモ網を使用して魚類を採捕・観察した後、簡単な水質調査を行いました。

子供達は川にはいるときは「川の水が冷たい」「石がぬるぬるする」「いろんな生き物があるね」など、実際に体験しながら「尻別川」のいろいろな事を学びました。

また、「災害対策車見学会」では「排水ポンプ車」「照明車」を見学し、職員の説明に耳を傾けながらそれぞれの実演に興味深そうに眺めていました。

虫や魚類を採取中

救命胴衣の装着確認

川は急に深くなるから気を付けてね

子供達は夢中になっても、しっかりと職員が監督 →





捕獲してあった魚類を観察。いろんな魚が住んでいます。



出前講座の蘭越高校も合流しました。



魚獲れたよと小学生に見せる蘭越高校の生徒。微笑ましい光景が見られました。



次は災害対策車見学会です。排水ポンプ車や照明車などの説明をきちんと聞いていました。



←水の勢いに見とれていました。

→水かさが減っていく様子を見つめています。



「ホースが固い」「冷たい」

水生生物調査中に上流よりカヌーが下ってきました。尻別川の豊かさを実感した1日でした。

